

【活動の主題】 甲良中学校 部活動
【副 題】 部活動を通じた人づくり

【学校名】 甲良町立甲良中学校

1 本校の概要

本校は、琵琶湖の東部、湖東平野に位置する甲良町にあり、歴史文化が豊かな風土の中で教育活動を進めている。室町時代に勝楽寺城を築いて本拠地とし、後に室町幕府の創立に参与した佐々木道誉、戦国時代末期の武将で築城の名手としても知られる藤堂高虎、江戸時代に日光東照宮や江戸城天守閣等の江戸初期を代表する建造物を手掛けた甲良豊後守宗廣を輩出しており、町内にも多くの文化財が点在している。

生徒数は全校148名で、各学年2クラス、特別支援学級2クラスの合計8クラスの学校である。

「人権尊重の精神を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた、次代をたくましく生きる生徒の育成」を学校教育目標とし、めざす生徒像として『甲良大好き、人間大好き』といえる生徒」を掲げ、生徒、そして教職員にとっても「安全で安心な、心から楽しい学校づくり」に取り組んでいる。

2 取り組んだ内容

(1) 部活動の目的

本校では、部活動を中学校の重要な教育活動の一つとして位置付け、与えられた時間・機会・資源を最大限に活用しながら活動している。

部活動を通して「人間づくり」に努めることを最大の目的としており、「人間づくり」とは、個々の生徒が学級・学年の所属を離れ、自分自身が興味・関心を持つ競技や活動に参加する中で、以下の5つのことに取り組んでいる。

- 1 あいさつやマナーの向上をはかる。
- 2 学年を越えた仲間づくりをする。
- 3 奉仕の心を身につける。
- 4 活動を通して耐える力を身につける。
- 5 社会のルールを守る人間を育てる。

(2) 部活動の現況

現在、運動部は野球、陸上競技、剣道、柔道、男女バレーボール、女子ソフトテニス、女子バスケットボールの8部、文化部は吹奏楽、美術、社会科学の3部の計11部あり、全校生徒の約8割が加入している。

一方、学校を取り巻く財政状況は大変厳しいものがあり、部活動の用具等の購入もままならない状況であった。子どもたちが意欲的に部活動に取り組むためにも用具の更新が望まれた。

(3) 活動の充実に向けて

今回は、本校の部活動の中でも部員数の多い男子バレーボール部と陸上競技部、吹奏楽部の用具の充実に努めた。

男子バレーボール部は、約20名の部員が活動しているが、2台あったボールカゴの1台が老朽化で破損していたため、効率的な練習ができずにいた。

また、陸上競技部では、走り幅跳びの踏切板が経年劣化により激しく損傷し、練習に支障をきたすようになっていた。

吹奏楽部では、打楽器のバスドラムとゴングのマレットが本校には無く、他校から借用したものを使用していたため、思うような練習ができずにいた。



3 活動の成果

男子バレーボール部では、ボールカゴが1台増えたことにより、二手に分かれて練習を行うことが可能になり、より効率的な練習ができるようになった。

また、陸上競技部では、真新しい踏切板に更新したことにより、これまで以上に練習に熱が入るようになった。

吹奏楽部では、新たに打楽器用のマレットを購入することができ、アンサンブルコンテストに向けた練習が常時できるようになった。

生徒たちにとって、部活動での体験はこれからの人生においてかけがえのない財産となっていくものと信じ、今後も部活動の充実を図っていきたい。